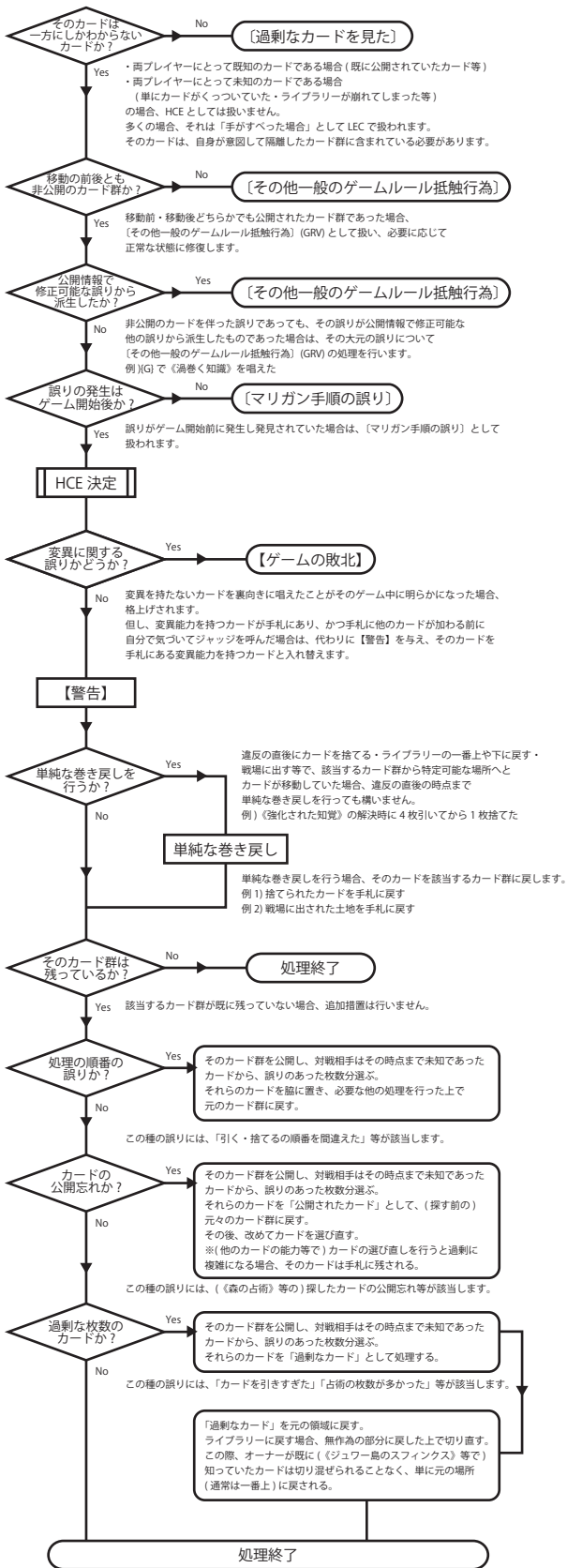


# HCE チャート

Rev. 17/04/24 by K.Kawazoe



No

〔過剰なカードを見た〕

Yes

・両プレイヤーにとって既知のカードである場合 (既に公開されていたカード等)  
・両プレイヤーにとって未知のカードである場合 (単にカードがくっついていてライブラリーが崩れてしまった等) の場合、HCE としては扱いません。  
多くの場合、それは「手がすべった場合」として LEC で扱われます。  
そのカードは、自身が意図して隔離したカード群に含まれている必要があります。

移動の前後とも非公開のカード群か?

No

〔その他一般のゲームルール抵触行為〕

Yes

移動前・移動後どちらかでも公開されたカード群であった場合、〔その他一般のゲームルール抵触行為〕 (GRV) として扱い、必要に応じて正常な状態に修復します。

公開情報で修正可能な誤りから派生したか?

Yes

〔その他一般のゲームルール抵触行為〕

No

非公開のカードを伴った誤りであっても、その誤りが公開情報で修正可能な他の誤りから派生したものであった場合は、その大元の誤りについて〔その他一般のゲームルール抵触行為〕 (GRV) の処理を行います。  
例) (G) で《渦巻く知識》を唱えた

誤りの発生はゲーム開始後か?

No

〔マリガン手順の誤り〕

Yes

誤りがゲーム開始前に発生し発見されていた場合は、〔マリガン手順の誤り〕として扱われます。

HCE 決定

変異に関する誤りかどうか?

Yes

〔ゲームの敗北〕

No

変異を持たないカードを裏向きに唱えたことがそのゲーム中に明らかになった場合、格上げされます。  
但し、変異能力を持つカードが手札にあり、かつ手札に他のカードが加わる前に自分で気づいてジャッジを呼んだ場合は、代わりに【警告】を与え、そのカードを手札にある変異能力を持つカードと入れ替えます。

警告

単純な巻き戻しを行うか?

Yes

違反の直後にカードを捨てる・ライブラリーの一番上や下に戻す・戦場に出す等で、該当するカード群から特定可能な場所へとカードが移動していた場合、違反の直後の時点まで単純な巻き戻しを行っても構いません。  
例) 《強化された知覚》の解決時に 4 枚引いてから 1 枚捨てた

単純な巻き戻し

単純な巻き戻しを行う場合、そのカードを該当するカード群に戻します。  
例 1) 捨てられたカードを手札に戻す  
例 2) 戦場に出された土地を手札に戻す

No

そのカード群は残っているか?

No

処理終了

Yes

該当するカード群が既に残っていない場合、追加措置は行いません。

処理の順番の誤りか?

Yes

そのカード群を公開し、対戦相手はその時点まで未知であったカードから、誤りのあった枚数分選ぶ。それらのカードを脇に置き、必要な他の処理を行った上で元のカード群に戻す。

No

この種の誤りには、「引く・捨てるの順番を間違えた」等が該当します。

カードの公開忘れか?

Yes

そのカード群を公開し、対戦相手はその時点まで未知であったカードから、誤りのあった枚数分選ぶ。それらのカードを「公開されたカード」として、(探す前の)元々のカード群に戻す。その後、改めてカードを選び直す。  
※(他のカードの能力等で)カードの選び直しを行うと過剰に複雑になる場合、そのカードは手札に残される。

No

この種の誤りには、(《森の占術》等の) 探したカードの公開忘れ等が該当します。

過剰な枚数のカードか?

Yes

そのカード群を公開し、対戦相手はその時点まで未知であったカードから、誤りのあった枚数分選ぶ。それらのカードを「過剰なカード」として処理する。

No

この種の誤りには、「カードを引きすぎた」「占術の枚数が多かった」等が該当します。

「過剰なカード」を元の領域に戻す。  
ライブラリーに戻す場合、無作為の部分に戻した上で切り直す。この際、オーナーが既に(《ジュワー島のスフィンクス》等で)知っていたカードは切り混ぜられることなく、単に元の場所(通常は一番上)に戻される。

処理終了

この後で、適正に解決されるべき処理が残っている場合はそれを実行します。